たからもの

微笑んだうしろ姿に ななさそうな顔を 隠してた やさしさで胸がいたくて こんなに日々がいとおしくて

がぜ あと ゆうやみ なつ 風の音に 夕闇に 懐かしい君を思い出す いつまでも一緒だよ、と 叶わぬことくり返し

ぬくもりはこの手に あざやかなまま 生きている 忘れたくないもの 受け取った愛を 未来にかえながら

あと何を話せただろう はなれてしまう その前に が 対しさを感じることは 孤独とどこか違っていて

ありがとう うれしいよ 大切な時間をくれたね えいえん 永遠をつなぐように 深い場所でふれあえた

しあわせの余韻が そっと背中を押している たびだちの夜明けを 「照らしてたのは二度と会えない日々

さよならのかわりに 抱きしめていくんだ わたしをつくる ひとつひとつを ずっと…

ぬくもりはこの手に

あざやかなまま 生きている たれたりしないよ う 受け取った愛の 輝きと歩こう